

『河野談話』の白紙撤回を求める要望書

現在、世界各地で、韓国系団体が中心となり、慰安婦像の建立が続いています。こうした「慰安婦像」建立の大きな根拠は、1993年に日本政府・河野洋平官房長官が発表し、従軍慰安婦の強制連行を認めた、いわゆる「河野談話」であります。

韓国側は「先の大戦で日本政府と日本軍が、20万人の女性を拉致し、強制的に“性の奴隷”にした」と主張しています。しかしながら、旧日本軍が女性を慰安婦にするために強制連行したという証拠は何ら存在せず、事実無根の捏造に他なりません。

しかも最近では、「河野談話」作成過程での韓国人の自称元慰安婦への聞き取り調査自体が、ずさん極まりないものであったことも明らかとなっています。

こうした嘘の歴史により、アメリカでは現地の学校に通う日本の子供たちが、「日本人はレイプ魔だ」といじめられているという話も多々あります。

このまま「河野談話」を放置すれば、大東亜戦争で亡くなられた英霊とその遺族は、いわれなき罪を永遠に負うこととなり、我が国も未来永劫、悪魔の国として非難され続けることでしょう。

日本人にいわれなき「原罪」を背負わせる「河野談話」を撤回することは、現代に生きる私たち世代の責任であり、政府として取り組むべき最重要課題です。ここに **133,080 筆**の署名と共に、下記を速やかに実現されますことを赤心より要望致します。

一、「河野談話」を白紙撤回すること。

一、日本の先人たちの名誉を回復し、日本の誇りを取り戻すため、日本の正しい歴史を継承する新たな「談話」を発表すること。

平成 26 年 4 月 22 日